

単元名 穂先の動きと、線のつながり

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 穂先の動きと線のつながりを理解して、字形を整えて書くことができる。
 (2) 用紙に対する適切な文字や余白の大きさを考え、適切な筆記用具を選択することができる。
 (3) 線のつながりに気を付けて、正しく書こうとする。

標準的な展開例

05020203_001

【教材名】『あこがれ』（毛筆）/レッツ・トライ 委員会のポスター

(P. 27～P. 33)

【準備等】筆、鉛筆、ボールペン、小筆、フェルトペン（太・細）、サインペン、筆ペン、絵の具筆、色鉛筆など筆記用具、ポスター用模造紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 穂先の動きとつながりに気を付けて、『あこがれ』を書く。</p> <p>★穂先の動きと、線と線のつながりに気を付けて書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『あこがれ』を毛筆で試し書きする。 ○試し書きと教科書とを比較して、気付いたことを話し合う。 ○平仮名の特徴について確認する。 ○穂先の動きとつながりに気を付けて、毛筆で『あこがれ』を練習する。 ○『あこがれ』をまとめ書きして、自己評価・相互評価をする。 <p>4～5 場面に適した書き方について知る。</p> <p>★委員会のポスターを、読む人に分かりやすくなるように工夫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分かりやすく、効果的に伝えるための書き方について話し合う。 ○ポスター作りの手順を確認する。 ○筆記用具の特徴を調べる。 ○ポスターの試し書きをする。 ○グループで試し書きを見せ合い、気付いた点を伝え合う ○ポスターのまとめ書きをして、学級で見合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を見ないで書くようにする。 ・教科書P. 28の「考えよう」を参考にして、穂先がどこを通っているか、線と線のつながりがどうなっているかを確認させる。 ・平仮名は丸みを帯びて柔かく書くことを想起させる。 ・教科書P. 28を参考にして、中心を確認させる ・穂先がどこを通っているかを意識させ、線と線がつながるように書かせる。 ・かご字のあるものとなないもの2種類の練習用紙を用意しておき、児童の実態に合わせて活用する。 【評】教材の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・隣席同士で、教科書・試し書き・まとめ書きを比較し合い、互いのよくなった点を見付けさせる。 【評】まとめ書きを通して、穂先の動きとつながりについての「知識・技能」を評価する。 ・隣席やグループで話し合い、発表させる。 ・話し合い、児童の意見をもとに手順を確認していく。 <ul style="list-style-type: none"> ①伝える相手・目的・内容 ②どのように書くか。 ③レイアウト・文字の大きさ・色 ・グループごとに各筆記用具を用意したり教科書P. 31を参考にしたりして、特徴を確認する ・それぞれの筆記用具の特徴を基に、どのような場面に合うのかを話し合う。 ・話し合ったことを基にして、実際にポスターを書いてみる。 ・よい点を伝えたり、相手により伝わりやすくするためのアドバイスを送ったりさせる。 ・教科書P. 32～P. 33も参考にするとよい。 ・まとめ書き用紙に書く。 ・作品を見合いながら、よいところを認め合えるようにする。 【評】話し合いや作品を通して、分かりやすく伝えるための工夫についての「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】